

学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

普通科

笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- ・自己の進路目標を明確に持ち、その目標の実現に向けて努力を行う強い心
- ・日々の授業を大切にし、基礎・基本となる学力の定着に努める意欲
- ・自己の時間管理を行い、毎日の継続的な家庭での学習習慣を身につける態度
- ・上級学校のオープンキャンパスやホームページ等を活用して、進路目標の実現に向けて自ら情報収集を行う積極性

1年次の目標

- ・自己と向き合い将来の進路について考える中で、文系・理系の選択に向けた調査を行い、各科目の内容を理解した上で文理の決定を行う
- ・基礎基本の定着に向けた家庭学習時間の確保
- ・各科目の特性を理解し、家庭学習において取り組むべき内容を理解する

2年次の目標

- ・具体的な進路目標の設定を行うことで、3年次に向けた科目履修登録に備える
- ・文系、理系の専門科目が増えていく中で、家庭における学習の積み重ねの大切さを再認識する

3年次の目標

- ・1、2年次に身につけた力をもとに、発展的内容を習得することに意欲的に取り組む
- ・進路実現に向けて日々の授業を大切にしながら、家庭学習により一層の努力を行う

学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

5教科の授業は学年が上がるにつれて難易度が増していきます。授業での積み残しが無いように1時間、1時間を大切にしてください。分からないことをそのままにしておくことが最も良くない態度です。「ある授業の内容が理解できない」→「次の授業が更に分からない」→……という負のスパイラルに陥らないよう、授業中や授業後に先生に質問をして理解することに努めましょう。

自己の進路実現に向けて各学年に応じた進路意識が大切です。1年生では将来の「進路分野・方面」、2年生では「具体的な志望校の決定」が最低ラインです。進路目標がはっきりとすることで、日々の授業に対する意欲も変わってくるはずです。自己と向き合い、将来を見つめることが高校生にとって大切なこととなります。

自己の進路実現に向けて日々の授業を大切に、家庭学習の習慣をつけ、模擬試験で力試しを行い、出来なかったことを家庭学習や先生に質問をして補っていく、という生活ができるようにしましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	国語	古典B	
3	地理歴史	世界史B	選択
4	地理歴史	日本史B	選択
5	公民	政治経済	
6	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
7	外国語	英語表現Ⅱ	
8	保健体育	体育	
9	国語	国語表現	選択A
10	数学	数学B	選択AB
11	公民	倫理	選択B
12	数学	総合数学	選択B
13	保健体育	総合スポーツ	選択B
14	家庭	食文化	選択B
15	商業	簿記	選択B
16	理科	生物探究	選択C
17	芸術	構成	選択C
18	情報	情報の科学	選択C
19	農業	農業と環境	選択C
20	外国語	時事英語	選択C
21	理科	化学探究	選択D
22	家庭	子どもの発達と保育	選択D
23	外国語	英語理解	選択D

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	国語・現代文B	単位	3	履修区分	必修
対象学年・類型・コース	3年 普通科 文系				
使用教科書	『新編 現代文B』教育出版				
目標とする生徒の将来像	近代以降の様々な文章を的確に理解できること。語句の読み書きや意味、慣用句等を適切に使えるよう知識を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深めていく。また、読書に興味関心を持ち、人生を豊かにする態度を育ててほしい。				
評価の観点	①関心・態度・意欲：国語で理解し表現する力を養うために向上心をもって取り組んでいるか。 ②話す・聞く力：目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させているか。 ③書く力：必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているか。 ④読む力：文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。 ⑤知識・理解：言語文化及び言葉の特徴等について理解を深め、知識を身に付けているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	○日本社会の特徴を知り、社会人としてあるべき姿を意見文にしよう 「『である』ことと『する』こと」 ○登場人物の心理を整理しながら読み、小説の結末の意味を話し合おう 「土神と狐」	・筆者の主張を的確に読み取り、用いられている概念や論理を現実の事象に当てはめて説明できる ・土神の心理をたどりながら結末の場面の意味を考えることができる	③「である」と「する」ということ基準を適用し、意見文を書くことができたか (記述の点検) ②狐の死と、土神の涙の意味を考え、説明しているか (行動の観察)	ABC評価及び相互評価による添削 相互評価
	第2回定期試験	○現代(資本)社会における私たちの衝動や欲望について考えよう 「欲望と資本主義」	・「欲望」発生のメカニズムと市場経済の動きがどのように連動しているかを考えることができる	④「欲望」と「資本主義」への考え方を理解し、具体的事例を想起した意見か (記述の点検)	ABC評価
2 学期	第3回定期試験	○多角的な視点から作品の主題を考える方法を学ぼう 「高瀬舟」「高瀬舟縁起」「流人の話」 ○常識的な見方や考え方を打ち破る思考に挑戦しよう 「ミロのヴィーナス」	・「高瀬舟縁起」「流人の話」を読み、主題を見つけることができる ・文章の構成や論理の展開を正確におさえながら筆者の主張を正しく理解できる	②作品の主題を考え、説明しているか (行動の点検) ④完璧美が欠落するミロのヴィーナスが感動を与える理由を説明している (行動の観察)	ABC評価 ABC評価
	第4回定期試験	○作品の背景を理解しながら詩に込められた感情を味わってみよう 「樹下の二人」 「表札」 ○寓話から現代社会の問題点を俯瞰しよう	・詩の背景と作者の心情を理解できる ・アイデンティティという概念を理解し、「表札」という題で詩を作ることができる ・「靴」が何を意味するのかを考え、作品のテーマを読み取る	①高村光太郎の、智恵子への愛情について考えようとしているか (行動の観察) ③一個人としての「精神の在り場所」を理解した詩の創作か (記述の点検) ④作品の寓意と「自由」について考えたことを説明しているか (行動の観察)	ABC評価 ABC評価 ABC評価
3 学期	第5回定期試験	○寓話から現代社会の問題点を考え、意見を言ってみよう	・「掟」「男」「門番」はそれぞれ何を意味しているかを考え、この作品の寓意を読み取る	②「掟」の意味するもの、また「掟」について理解している (記述の観察)	ABC評価
検定資格(時期) 諸費用(予定)		準会場として日本漢字能力検定を年3回(7月・10月・2月)実施。校外においても受験できるので積極的に挑戦してください。検定料は、級によって異なりますが2,000円~3,500円。			
履修にあたって		板書をノートに写す作業は学習の一部にすぎません。本文に根拠を求め、「自分の考えを深め、発展させる」ことが求められています。自分なりの意見や考えをまとめ、発言できる訓練をしてください。また、自分の読解力を評価する手段として模試を受けましょう。			

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語・古典B		単位	3	履修区分	必修	
対象学年・類型・コース			3年普通科文系					
使用教科書			『精選 古典B』三省堂					
目標とする生徒の将来像			古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育むことができる。さらに、将来にわたって古典に親しむ姿勢がある。					
評価の観点			①関心・態度・意欲：古典を読む力を高め、古典への理解や関心を深めようとしているか。 ②読む能力：古典に表された思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させているか。 ③知識・理解：伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けているか。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・〈方法〉	自己評価			
1 学期	第1回定期試験	○宮廷で清少納言はどう過ごしたのか 「二月のつごもりごろに」 「大納言殿参り給ひて」 ○世阿弥から学ぶ 「下手は上手の手本」	・筆者の美意識や機知を読み取り、豊かなものの見方ができる ・世阿弥の人生観や人間観を読み取ることができる	②筆者の美意識や機知を読み取ることができたか 〈記述の確認〉 ②世阿弥の人生観や人間観を読み取っている 〈記述の確認〉	ABC 評価			
	第2回定期試験	○『三国志』の世界を知ろう 「三往乃見」 「進遇於赤壁」 ○日記から筆者の人物像を想像してみよう 蜻蛉日記「うつろひたる菊」	・登場人物の言動や心理などを的確に読み取ることができる ・作者のものの感じ方を通して、その心情を理解できる	②それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとしている 〈記述の確認〉 ②作者のものの感じ方を整理し、その心情を比較している 〈記述の確認〉	ABC 評価 相互評価			
2 学期	第3回定期試験	和泉式部日記「夢よりもはかなき世の中を」 紫式部日記「和泉式部と清少納言」						
	第4回定期試験	○和歌の本質とは何だろう 「古今和歌集仮名序」 ○主人公「杜子春」の人間性を分析しよう 「杜子春伝」	・筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取ることができる ・芥川龍之介「杜子春」と読み比べ、共通点や相違点などについて説明できる	①和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている 〈行動の観察〉 ②共通点や相違点などについてまとめている 〈記述の確認〉	ABC 評価 ABC 評価			
3 学期	第5回定期試験	○江戸時代に源氏物語はどう評価されたのか 「源氏物語玉の小櫛」 ○江戸時代の人情に触れてみよう 「大晦日は合はぬ算用」	・本居宣長の解釈を理解することができる ・江戸時代の人々の生き方や、作者のまなざしについて考えることができる	①源氏物語への興味関心を深めようとしている 〈行動の観察〉 ②話の展開や登場人物の考え方を読み取っている 〈記述の確認〉	ABC 評価 ABC 評価			
履修にあたって		古語辞典や漢和辞典を使い、自分で現代語訳できる姿勢を身につけてほしい。また、授業のポイントを押さえたノート作りに取り組むこと。						

教科・科目	地理歴史・世界史B	単位数	4	必修	必修 (選択)
学年・系列・コース	3年 普通科・総合学科				
使用教科書	世界史B(実教出版)	副教材	アカデミア世界史		
目標とする生徒の将来像	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。文化の多様性・複合性と現代世界の特徴を広い視野から考察し、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を涵養する。				
評価の観点	①授業への関心、意欲、態度および、世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特徴を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現していること。(10%) ②諸資料の収集、有用な情報の選択、読み取り、図表などへのまとめ。(10%) ③世界の歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。				
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力			評価の観点
1 学期	第9章 近世ヨーロッパと大航海時代 1. ヨーロッパの海外進出 2. 第2次大交易時代と海域アジア 3. ルネサンスと宗教改革 4. 主権国家体制の成立 5. 激化する覇権競争 6. 近世ヨーロッパの社会と文化 第10章 アジア諸地域の帝国と第2次大交易時代 1. 中央ユーラシア世界と西アジア世界の帝国 2. 南アジア世界の帝国 3. 東南アジア諸国と第2次大交易時代 4. 東アジア世界の帝国 5. 14～18世紀の朝鮮半島と日本列島 第11章 近世大西洋革命とバクス=ブリタニカ 1. イギリスの産業革命 2. 南北アメリカの革命 3. フランス革命とナポレオン帝政	・ヨーロッパの海外進出によって、大西洋をはさんだ分業体制が確立したことを理解する。 ・明を中心とする朝貢貿易が第2次大交易時代をもたらしたことを理解する。 ・ルネサンスがもたらした芸術・思想・科学の変革と、宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。 ・主権国家体制の成立は、覇権競争の激化をもたらしたことを理解する。 ・17世紀に科学革命が進行し、18世紀には啓蒙思想が盛んになったことを理解する。 ・ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国、ムガル帝国の支配体制と、イスラム文化の影響を理解する。 ・東南アジアの大陸部諸国の発展と第2次大交易時代における諸島部の展開を理解する。 ・明・清時代の支配体制・外交・経済・社会・文化を理解する。 ・明・清の動きと関連させて朝鮮と日本の動向を理解する。 ・イギリス産業革命によって、資本主義社会が確立したことを理解する。 ・アメリカ独立の歴史的意義とラテンアメリカへの影響を理解する。 ・フランス革命の推移とともにナポレオンのヨーロッパ支配がもたらした歴史的意味を理解する。	①②③		
2 学期	第11章 近世大西洋革命とバクス=ブリタニカ 1. イギリスの産業革命 2. 南北アメリカの革命 3. フランス革命とナポレオン帝政 第12章 近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家 1. ウィーン体制と1848年の革命 2. 19世紀後半のヨーロッパとアメリカ 3. 19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化 第13章 地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗 1. ヨーロッパの帝国主義 2. アメリカの帝国主義 3. 西アジアの改革運動 4. アフリカの分割と抵抗 5. インドの植民地化と民族運動 6. 東南アジアの植民地化と民族運動 7. 中華帝国の崩壊と中華民国の創立 8. 19～20世紀初頭の朝鮮半島と日本列島	・イギリス産業革命によって、資本主義社会が確立したことを理解させる。 ・アメリカ独立の歴史的意義とラテンアメリカへの影響を理解させる。 ・フランス革命の推移とともにナポレオンのヨーロッパ支配がもたらした歴史的意味を理解させる。 ・ウィーン体制の確立から1848年革命に至る過程を理解させる。 ・工業化が進化したイギリスとフランスに対し、遅れて工業化を進めたイタリア・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの在り方を理解させる。 ・19世紀の欧米でうまれた新しい文化が社会生活を一変させたことを理解させる。 ・欧米の帝国主義の在り様から世界の一体化がはかられた構造を理解させる。 ・列強の帝国主義的な植民地獲得競争に対して、諸地域の民族がどのような抵抗を示したのかを理解させる。 ・列強の圧力の中で、朝鮮と日本の対応について理解させる。	①②③		
3 学期	第14章 二つの世界大戦 1. 第一次世界大戦、2. ヴェルサイユ体制と国際協調、3. アジアのナショナリズムの台頭、4. 世界恐慌とファシズム、5. 満洲事変と日中戦争、6. 第二次世界大戦 第15章 冷戦から多極的国際社会へ 1. 冷戦時代の国際関係、2. 戦後の南北アメリカ、3. 戦後のソ連・ロシアと東ヨーロッパ、4. 戦後の西ヨーロッパ、5. 戦後のアフリカ、6. 戦後の西アジア、7. 戦後の南アジア、8. 戦後の東南アジア、9. 戦後の東アジア、10. 20世紀の文化 第16章 グローバリゼーションと地球環境の危機 1. グローバリゼーションの光と影、2. 「9.11」とアメリカ、3. 国際協調をめざして、4. ゆたかで安全な地球をめざして	・総力戦としての第一次世界大戦と戦後、世界の中心がアメリカに移ったことを理解させる。 ・西アジア・インド・東南アジア・東アジアの戦間期での民族独立運動を理解させる。 ・世界恐慌とファシズムの台頭と東アジアでの日中間の動向を理解させる。 ・連合国の勝利で終わった第二次世界大戦の意味を理解させる。 ・西側、東側の各陣営の対立がなぜ発生したが、第二次世界大戦からの歴史的な経緯を踏まえて理解する。 ・戦後の世界の各地域について、冷戦から多極化へ世界情勢が変化していく中で各地域の独立、建国の動きや経済成長のプロセスを理解する。 ・二度の世界大戦、冷戦と多極的国際社会を経験した20世紀の文化の特徴を思想、文学、芸術、科学などの面から理解する。 ・冷戦後、顕著となったグローバリゼーションがもたらす功罪両面の陰について考察できるようにする。 ・「テロとの戦い」を唱えるアメリカの行動と新たな国際紛争の関係を考察できるようにする。 ・1960年代以降の核軍縮の動きなどの国際協調の取り組みについて理解する。	①②③		
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	何時、どこで、誰が、何をし、どうなったかに心がけ理解するとともに、同じ時期に他の場所ではどのようなであったかも整理できるようにしよう。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		日本史B	単位	4	履修区分	選択
対象学年・類型・コース		3年普通科(選択者)総合学科国際文化系列(選択者)				
使用教科書		新選 日本史B (東京書籍)				
目標とする生徒の将来像		①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。 ②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。 ③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う				
評価の観点		①定期試験 ②授業中の関心・意欲・態度・発問の観点等 ③単元ごとに実施する小テストなど				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力		主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	第3章 2. 幕藩体制の成立 3. 近世社会の発達の町人文化	・関ヶ原の戦いで実権を握った徳川家康により江戸幕府が開かれ、経済的にも軍事的にも圧倒的な力で全国支配を実現したことを理解する ・百姓に対する厳しい規制を具体的に理解し、その厳しい規制の背景を幕藩体制の特質から考察する。また、身分制の仕組みを具体的に理解する		定期試験 ノート提出	
	第2回定期試験	4. 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達 第4章 1. 開国から明治維新へ	・幕府財政悪化の中で実施された享保の改革の諸政策を、財政再建、都市政策の両面から考察する ・ペリー来航の背景を理解し、日米和親条約から不平等条約に至る動きを把握する		定期試験 ノート提出	
2 学期	第3回定期試験	2. 立憲政治の形成と国民文化 3. 日本の近代化と東アジア	・自由民権運動が農民をも含めた大きな運動であったことや、民権運動を通じて民衆意識も次第に近代化していったことについて考察する ・日清戦争と、その後の三国干渉等が与えた影響について考察する		定期試験 ノート提出	
	第4回定期試験	4. デモクラシーと第一次世界大戦 5. 激動する世界と日本	・大正政変やシーメンス事件を通じて、民衆の行動によって政治が動く時代になったことを理解する ・第一次世界大戦中の日本の東アジアにおける動きを理解し、これに対する各国の反応を考察する		定期試験 ノート提出	
3 学期	第5回定期試験	第5章 現代の世界と日本 1. 占領と国内改革 2. 国際社会への復帰と高度経済成長	・太平洋戦争開戦に至る日米関係や、太平洋戦争の展開について理解する ・連合軍による日本占領の目的が非軍事化と民主化であったことを理解し、その目的に沿ってどのような政策が展開されたのか、また、諸政策がその後の日本社会にどのような影響をもたらしたのかを、考察する		定期試験 ノート提出	
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)		特になし				
履修にあたって		ただの暗記教科ではなく、「なぜ？」という歴史的な疑問を持って授業に臨むことが大切である。歴史が苦手な生徒でも、授業内での間に積極的に答えることで、苦手を克服することができる。				

教科・科目	政治経済		単位数	2
学年・系列・コース	3年普通科文系			
使用教科書	第一学習社『高等学校 政治経済』	副教材	とうほう『テーマ別資料 政治経済』	
目標とする生徒の将来像	中学校で学習した公民的分野を基礎として、現在の政治や経済の様子(特に政治分野に主眼を置きます)、裁判員制度・18歳選挙権などの新しい動きや、社会に船出するにあたっての予備知識を身につけることを目標とします。			
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。</p> <p>【思考・判断】現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。</p> <p>【資料活用の技能・表現】現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。</p> <p>【知識・理解】現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。</p>			
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力		評価の観点
1学期	<ol style="list-style-type: none"> 資本主義経済の発展と社会主義経済の変容 経済主体と経済活動 市場経済の機能と限界 経済成長と景気変動 財政のしくみとはたらき 資金の循環と金融機関のはたらき 物価の動き 日本経済の歩み 中小企業問題 日本の農業の現状と課題 消費者問題 労働問題と労働関係の改善 社会保障制度の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較し理解する。 経済の基本的な概念や理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。 日本の財政の現状を理解し、経済活動のあり方と福祉の向上について考察し、日本経済が抱えている問題について認識する。 		<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>【思考・判断】</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>【知識・理解】</p>
2学期	<ol style="list-style-type: none"> 消費者問題 労働問題と労働関係の改善 社会保障制度の充実 国際経済の仕組みと現状 為替相場のしくみ 国際協調と国際経済機関の役割 国際経済の諸問題と日本の役割 環境保全と資源・エネルギー問題 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者問題の現状や消費者運動、様々な法制度を、新聞記事などの資料を利用して調査する。 労働基本法と労働三法を正しく把握した上で、様々な視点で最近の労働問題を理解する。 日本の社会保障制度を体系的にとらえるとともに、現在の制度上の問題点について考察する。 国際経済における基本的な概念や理論を理解しながら、国際経済における日本が果たすべき役割について考察する。 		<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>【思考・判断】</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>【知識・理解】</p>
3学期	<ol style="list-style-type: none"> 政治と法の機能 人権保障と法の支配 議会制民主主義と政治の特質 日本国憲法の基本原理 基本的な人権の保障と新しい人権 国会の組織と機能 内閣の組織と機能 裁判所の組織と機能 国際政治 	<ul style="list-style-type: none"> 民主主義思想の流れとその内容が、近代民主主義政治の確立にどのような影響を与えたか理解する。 自然法思想家たちの違いや、法の支配の原則について理解する。 議院内閣制と大統領制について理解する。社会主義国の変容やその背景について理解する。 日本の政治制度について理解する。 第二次大戦以降の現代史を俯瞰しつつ、国際的な動きを理解する。 		<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>【思考・判断】</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>【知識・理解】</p>
検定資格(時期)	特に予定していません。			
諸費用(予定)				
履修にあたって	<p>まず大切なのは、日頃社会で起きている出来事に対して関心をもつことです。それには「情報を得ること」が第一です。新聞に目を通す習慣を身につけましょう。そして常に「なぜ」という視点と意識を持ちましょう。それにより、社会で起きている問題の核心を見抜くことができます。他の教科との連携も大切です。例えば、外国の歴史を知らなければ、「権利」という問題を理解することは不可能であるし、環境問題を考えるには、生物や化学の知識も大切です。様々な角度から物事を考える目を養いましょう。ノートを使い、提出をする機会もありますので準備をしてください。また、プリント配布があるので、バインダーやクリアファイルの用意をお願いします。</p>			

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		コミュ英語Ⅲ	単位	4	履修区分	必履修	
対象学年・類型・コース			3年 普通科				
使用教科書			(コⅢ321) Vivid English Communication III (第一学習社)				
副教材			Vivid English Communication III Work & Drill DataBase1700 英単語熟語 (授業内小テスト) Vintage(授業内小テスト) Mileage Reader (授業内速読テキスト)				
目標とする 生徒の将来像		<p>ア. 英文を読み、書かれている内容を理解し、その内容を簡潔にまとめることができる。</p> <p>イ. 英語での対話や説明文などを聞いて、その概要をつかむことができる。</p> <p>ウ. 自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を聞いて理解したりできる。</p> <p>エ. 得た情報や自分の考えについて、簡単な文章で書き表すことができる。</p>					
評価の観点		定期考査80%・観点別評価20%・提出物・授業に対する積極性・小テスト・標準考査					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			評価法	自己 評価
1 学期	第1 回 定期 試験	LESSON 1 Happy Nations	<ul style="list-style-type: none"> ・コスタリカとブータンの例から、幸福を測る指標について読み取ることができる。 ・幸福であるとはどういうことか、自ら考えることができる。 ・自分に幸福を感じさせる物や日本国民を幸せにするための案を発表する。 ・助動詞+have+過去分詞, 独立不定詞を理解し, 文を作ることができる。 				A B C
		LESSON 2 "Gamification" : Games May Save the World	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゲーミフィケーション」の理論と、それが私たちの生活に活用されている例を読み取ることができる。 ・オンラインゲームや節電方法について発表することができる。 ・省略, 無生物主語を理解し, 文を作ることができる。 				A B C
	第2 回 定期 試験	LESSON 3 Spider Silk Spun into Violin Strings	<ul style="list-style-type: none"> ・クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について読み取る。 ・クモの糸のもつ可能性について自ら考えることができる。 ・自然界と産業界の結びつきを考える。 ・代動詞, 部分否定を理解し, 文を作ることができる。 				A B C
		LESSON 4 A Girl Goes on Dancing	<ul style="list-style-type: none"> ・菅井円加さんの活躍について読み取ることができる。 ・菅井円加さんのバレエに取り組む姿勢について自ら考えることができる。 ・自分の夢について発表する。 ・完了形 (受け身), 分詞構文 (過去分詞) を理解し, 文を作ることができる。 				A B C
2 学期	第3 回 定期 試験	LESSON 5: Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話のリサイクルとコンゴのゴリラの関わりを読み取ることができる。 ・生物や環境を守る取り組みについて自ら考えることができる。 ・It is said that ..., 比較級+and+比較級を理解し, 文を作ることができる。 ・東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を読み取る。 ・自国の文化に対する理解を深め, 雅楽の魅力について考える。 				A B C
		LESSON 6: Gagaku, the Music of the Universe	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽や伝統芸能について発表する。 ・分詞構文 (完了形), 関係副詞の非制限用法を理解し, 文を作ることができる。 				A B C
	第4 回 定期 試験	LESSON 7 Ethymology: Wonders of Words	<ul style="list-style-type: none"> ・語の歴史や起源について読み取る。 ・英単語の語源や語義変化について考える。 ・英単語に関して自分のもっている知識を発表する。 ・文修飾副詞, 準否定語を理解し, 文を作ることができる。 				A B C
		LESSON 8 A Lesson from Steve Job' s Life	<ul style="list-style-type: none"> ・スティーブ・ジョブズの生き方や考え方を読み取る。 ・自分の人生を生き抜くことの大切さについて自ら考える。 ・自分にとって特別な人や印象的な出来事を発表する。 ・more A than B, 強調構文を理解し文を作ることができる。 				A B C
検定		英語検定 (希望者: 6月・10月・1月)					
履修にあ たって		<p>英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、社会生活に活用できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付されたプリントをファイルにしっかり管理する。 ・辞書等授業で使うものは必ず持ってくる。 ・指示された課題や宿題をしっかりと提出日までに行う。 ・小テストには計画的に学習し、取り組む。 					

科目	英語表現Ⅱ	単位数	2単位	学年	3年	学科	普通科	コース	—
使用教科書	MY WAY Ⅱ						コード	15 三省堂 英Ⅱ 303	
副教材等	Change the World basic, Listening Box3								
学習の到達目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。具体的な言語活動は以下の通り。</p> <p>ア. 英文を読み、書かれている内容を理解し、その内容を簡潔にまとめることができる。</p> <p>イ. 学んだことや経験したことをもとに、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を理解することができる。</p> <p>ウ. 得た情報や自分の考えについて、簡単な文章で書き表すことができる。</p>								
評価方法	定期試験80% / 観点20%(①提出物・②授業内テスト・③授業態度・④標準考査)								

学期	考査	単元名	主な学習内容と評価のポイント	並行教材	評価方法	自己評価
1 学期	第1回定期考査	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな時制の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-1, Listening Box3-1	定期考査 および ①②③④	ABC
		Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな時制の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-2, Listening Box3-2		
		Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな助動詞を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-3, Listening Box3-3		
	第2回定期考査	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな助動詞の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-4, Listening Box3-4		
		Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな受動態の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-5, Listening Box3-5		
		Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ○未来完了形／その他の完了形進行形の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-6, Listening Box3-6		
2 学期	第3回定期考査	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ○助動詞1(義務・必要など)の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-7, Listening Box3-7	定期考査 および ①②③④	ABC
		Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ○助動詞2(過去の習慣／助動詞を用いた慣用表現)の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-8, Listening Box3-8		
		Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな受動態の表現の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-9, Listening Box3-9		
	第4回定期考査	Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> ○自動詞＋不定詞／SVO＋不定詞の用法を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-10, Listening Box3-10		
		Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> ○比較級・最上級などの慣用表現を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-11, Listening Box3-11		
		Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> ○関係詞の非制限用法／複合関係詞動名詞を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-12, Listening Box3-12		
3 学期	第5回定期考査	Lesson 13	<ul style="list-style-type: none"> ○仮定法を用いたさまざまな表現を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-13, Listening Box3-13	定期考査 および ①②③④	ABC
		Lesson 14	<ul style="list-style-type: none"> ○間接話法／否定表現を含む例文を暗唱できる。 ○文法項目を用いた問題を解くことができる。 ○既習の文法表現を用いて、与えられた主題について書くことができる。 	Change the World basic-14, Listening Box3-14		

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 ・表現の能力 日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。 ・理解の能力 日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。 ・知識・理解 日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。
-------	---

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		保健体育・体育	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択
対象学年・類型・コース		3年普通科				
使用教科書		なし				
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> ・時間やルールを厳守し、率先して与えられた役割を確実にこなそうとする、責任感のある生徒。 ・運動の技能や知識を身につけ、高めていくために努力を継続することができる生徒。 ・積極的に活動に参加し、自己表現や他者への配慮などのコミュニケーションをとろうとする、信頼できる生徒。 				
評価の観点		<p>①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。</p> <p>②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。</p> <p>③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。</p> <p>④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。</p>				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価	
1 学期	第1回定期試験	・体づくり運動（体力を高める運動、集合、整頓、列の増減、集団としての行動）	・基礎的な運動能力を身につける ・大きな声を出すとともに、迅速に集団としての協調的な動きができるようになる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C	
	第2回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C	
2 学期	第3回定期試験	・ペース走	・自己に適したペースを維持して走ったり、ペースの変化に対応して走ったりする。徐々に記録を向上させる努力をする。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C	
	第4回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C	
3 学期	第5回定期試験	・球技選択 バスケ、バレー、バドミントン、卓球、テニス、サッカー、ソフトボール ・体育理論	・球技選択 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。 ・体育理論 生涯豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識を身につける。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C	
検定資格(時期)		なし				
随費用(予定)		なし				
履修にあたって		チャイム前には整列をし、大きな声で挨拶・体操をるところから体育の授業は始まります。お互いに100%で授業に臨みましょう。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	国語・国語表現	単位	2	履修区分	必修修 ・ 必修 選択
対象学年・類型・コース	3年 普通科				
使用教科書	高等学校 改訂版 国語表現 第一学習社				
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で適切、かつ効果的に表現できる生徒 ・自ら進んで表現することで、国語力の向上や社会生活の充実を図る生徒 ・「伝え合う力」を生活に活かし、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く生徒 				
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、小テスト及び課題内容等で学習したことの定着を、定期試験並びに到達度確認テストの成果から判断 ・意欲的に授業に臨んでいるか観察 ・基礎学力の定着を、ノート、小テスト、課題学習等の成果から判断 ・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項を、授業全般で確認 				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・写真からストーリーを創る ・写真に五七五と付ける ・誕生月の詩を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己独自のストーリーを創る ・写真を見て五七五で表現 ・イメージに合った詩を選ぶ 	授業中の姿勢や課題の状況 定期考査	A B C
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く意味 ・文章の書き方 ・わかりやすい表現 ・表現の工夫 ・描写の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く意味を考える ・基本的な書き方で書く ・分かりやすい文章を書く ・表現技法を理解する ・描写の硬化を理解する 	授業中の姿勢や課題の状況 定期考査	A B C
2 学期	第3回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉にする」から始めよう ・相手理解は聞くことから ・メールか手紙か ・手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを言葉にして相手に伝える ・聞くことの意義を考える ・手紙とメールの長所を考える ・手紙の価値と必要性を理解する 	授業中の態度や課題の状況 話し合いの姿勢 定期考査 夏期休業課題	A B C
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・想像の旅 ・紹介文・宣伝文を書く ・パンフレットを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告におけるコピーの目的と効果を理解する ・紹介文、宣伝文を理解する ・主体的に情報を発信することの必要性を理解する 	授業中の態度や課題の状況 話し合いの姿勢 定期考査	A B C
3 学期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・記録文を書く ・レポートを書く ・資料を編集する ・考えを発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録文の基本的な形式を理解し、実際に書く ・レポートの書き方を身につけ、実際に書く ・データを整理、編集する方法を身につけ、実際に編集する ・スピーチの形式を理解し、実際に発表する 	授業中の態度や課題の状況 話し合いや発表の姿勢 定期考査 冬期休業課題	A B C
	検定資格(時期) 諸費用(予定)	特になし			
	履修にあたって	<p>「日本語」を使うことはできるが、「正確に使うこと」は難しい。そこで、「より一層伝わる表現」を模索しながら、課題等への取り組みを重視していくので、授業にきちんと取り組む姿勢を維持することを心掛ける。</p>			

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		数学B		単位	4	履修区分	必修	必修	選択
対象学年・類型・コース		3年普通科 文系							
使用教科書		数研出版 新編 数学B 改訂版							
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な計算力と、基本的な問題解決能力が身についている ・数学を利用して、身近な事象を考察する力が身についている 							
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査による評価80点分 ・授業の取り組む姿勢、課題提出、小テストの結果を総合的に考慮した20点分 							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力				主たる評価の観点・方法		自己評価
1 学期	第1回 定期試験	第1章 平面上のベクトル 1. ベクトルとその演算 2. ベクトルと平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの加法・減法、実数倍について理解し、計算できる。 ・ベクトルの大きさとなす角から内積を求めることができる。 ・内積から、なす角や垂直条件を計算できる。 ・線分の内分点・外分点、三角形の重心の位置ベクトルを表すことができる。 ・図形上の頂点に関する位置ベクトルを定めて、図形を考察できる。 ・線分の長さ、垂直条件をベクトルの内積で表すことができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・定期試験 ・課題 		
	第2回 定期試験	第2章 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルを平面から空間へ拡張し計算できるようにし、線分の長さ、垂直条件などをベクトルで表すことができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・定期試験 ・課題 		
2 学期	第3回 定期試験	第3章 数列 1. 等差数列と等比数列 2. いろいろな数列 3. 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の定義、表記を理解し、規則性を発見しようとする。 ・等差数列や等比数列などの一般項を求めることができる。 ・記号Σの意味や性質を理解し、和の計算を行うことができる。 ・数列の和を求めることができる。 ・初項と漸化式から数列の一般項を求めることができる。 ・数学的帰納法の構造を理解し、等式や不等式を証明できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・定期試験 ・課題 		
	第4回 定期試験	数学IAIBの復習 センター試験対策 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学んだ事項を復習し、センター試験や入試の過去問題を解く 				<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・定期試験 ・課題 		
3 学期	第5回 定期試験	数学IAIBの復習 センター試験対策 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学んだ事項を復習し、センター試験や入試の過去問題を解く 				<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・定期試験 ・課題 		
検定資格		数学検定(2級・準2級程度)							
履修にあたって		<p>数学に苦手意識を持っている生徒も多いと思います。高校の数学はすべて内容がつながっていますので、しっかりと復習をしておきましょう。特に基本的な計算は訓練をしておくことが大切です。学び直しのプリントを活用して、復習もしていきましょう。</p>							

教科・科目	倫理	単位数	2
学年・系列・コース	3年文系選択者		
使用教科書	「高等学校 新倫理」(清水書院)	副教材	
目標とする生徒の将来像	・自らの体験や悩みを振り返ることから課題を見だし、それに基づいて青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、豊かな自己形成に向けて探究できる。 ・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。		
評価の観点	【関心・意欲・態度】 人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらにかかわる諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。 【思考・判断】 生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。 【資料活用の技能・表現】 青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を収集し、これらを自己形成に資するよう活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。 【知識・理解】 青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けようとする。		
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力	評価の観点
1学期	〈人間の本質・心理学〉 第1章 人間とは何か 第2章 青年期の課題と自己実現 〈源流思想〉 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教①② 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術	・人間性の本質について考える。 ・心理学、教育学の観点から青年期を理解する。 ・ギリシャ哲学、中国思想、原始宗教について理解する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】
2学期	〈近代哲学・現代思想〉 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理①～⑥ 〈日本の思想〉 第1章 日本の風土と外来思想の受容①～⑥ 第2章 現代の日本と日本人としての自覚	・近代社会の成立を中心に、人間の理性に対する西洋的などらえ方を考える。 ・日本の古代から近現代に至る思想史を学ぶ。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】
3学期	〈現代社会の諸問題〉 第1章 生命と倫理 第2章 環境と倫理 第3章 現代の家族とその課題 第4章 地域社会の変容と共生 第5章 情報社会とその課題 第6章 グローバル化の時代と倫理 第7章 人類の福祉と国際平和	・現代社会に特有の問題や、身近な問題をとらえ直し、現実社会を人文科学的な視点から考察する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】
検定資格(時期)	特に予定していません。		
諸費用(予定)			
履修にあたって	哲学を中心に、宗教・心理学・社会学、教育等、人文科学の基礎となる思想を学んでいきます。人間は何のために生まれ、死んでいくのか。神は存在するのか。人間はどのような存在なのか。日常生活の中で疑問に思ったことを、疑問のままにせず、探求していきましょう。また、世界史や日本史の知識があるほうが理解が進みます。そちらも勉強してください。		

平成30年度 年間シラバス

教科・科目		総合数学		単位	2	履修区分	必修修 ・ 必修	・ 選択
対象学年・類型・コース		3年普通科 文系						
使用教科書		数研出版 改訂版 リンク数学演習 I・A 受験編 数研出版 新編 数学 I 改訂版 数研出版 新編 数学 A 改訂版						
目標とする生徒の将来像		・基礎的な計算力と、基本的な問題解決能力が身についている。 ・数学を利用して、身近な事象を考察する力が身についている。						
評価の観点		・定期考査による評価80点分 ・授業の取り組む姿勢、課題提出、小テストの結果を総合的に考慮した20点分						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			主たる評価の観点・方法		自己評価
1 学期	第1回 定期試験	1 数と式 2 集合と命題 3 2次関数	・実数についての性質を理解し、種々の計算をすることができる。 ・1次不等式を解くことができる。 ・集合と命題について基本事項を確認し、命題の真偽を判断できる。 ・2次関数の最大値・最小値について考えることができる。			・授業態度 ・定期試験 ・課題		A・B・C
	第2回 定期試験	4 図形と計量	・2次関数を利用することにより、2次不等式を解くことができる。 ・三角比について理解し、図形の様々な値の導出に活用することができる。			・授業態度 ・定期試験 ・課題		
2 学期	第3回 定期試験	5 データの分析 6 場合の数と確率	・与えられたデータを様々な視点で評価し、特徴を読み取ることができる。 ・順列や組合せの求め方を活用させ、場合の数の総数を求めることができる。 ・種々の事象の確率を求めることができる。			・授業態度 ・定期試験 ・課題		A・B・C
	第4回 定期試験	7 図形の性質 8 整数の性質	・三角形や円などに関する様々な定理を理解し、値の導出や証明をすることができる。 ・整数の性質を理解し、条件を式に表すことができる。 ・ユークリッドの互除法の概要を理解し、最大公約数を求めたり、不定方程式の整数解を求めたりすることができる。			・授業態度 ・定期試験 ・課題		
3 学期	第5回 定期試験	数学IAの復習 センター試験対策 入試問題演習	・今まで学んだ事項を復習し、センター試験や入試の過去問題を解く			・授業態度 ・定期試験 ・課題		A・B・C
検定資格 (時期)		数学検定(準2級程度)						
履修にあたって		1年生、2年生で扱ってきた数学の内容の復習になります。高校の数学はすべて内容がつながっていますので、そのつながりを意識することが大切です。						

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育 総合スポーツ	単位	2	履修区分	必修・必修 ・選択
対象学年・類型・コース	3年普通科選択				
使用教科書	なし				
目標とする 生徒の将来像	・スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・球技	・球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通じてスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験				
2 学期	第3回定期試験				
	第4回定期試験				
3 学期	第5回定期試験				
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	生涯にわたって運動に親しんだり、自己の体力向上及び健康の保持増進を図れるよう、運動の楽しさや、喜びを学んでください。				

平成 30 年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	家庭・食文化	単位	2	履修区分	必修修 ・ 選択
対象学年・類型・コース	3年・普通科				
使用教科書	新版 基礎から学ぶ 「ビジュアル クッキング」 (教育図書株式会社)				
目標とする生徒の将来像	① 栄養、食品、献立、調理などに関する知識と技術を身につける。 ② 健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について考え、実践することができる。 ③ 日本や世界の食文化について調査し、レポートにまとめ、発表をすることができる。				
評価の観点	【関心・意欲・態度】豊かな食事を構成する要素について関心を持っているか。意欲的、積極的に課題解決しようとしているか。 【思考・判断・表現】現代の食生活を見直し、課題を見つけ、その解決を目指して、学んだ知識・技術を生かしたいいくつかの方法を比較検討し、意思決定をするなど工夫し創造しているか。 食事に関する自分の考えを適切に表現しているか。 【技能】日常食に関する基礎的・基本的な技術を習得しているか。食事のテーマに応じた献立作成や適切な食品材料の選択ができ、それに見合った調理の実践を行うことができるか。 【知識・理解】食事を総合的にデザインする基礎的・基本的な知識などについて、実際の食生活の充実向上に役立つよう総合的に理解しているか。				
学期	期間	単元・教材名	主たる目標		評価の観点
1 学期	第2回定期試験	食文化について	<ul style="list-style-type: none"> 日本の各都道府県や世界各国の食文化や地域の歴史などを調べ、レポートにまとめる。 まとめたレポートを発表し、相互評価をしよう。 まとめたレポートは、その後活用できるようにする。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
2 学期	第4回定期試験	食物調理技術検定3級レベルの知識と技術	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習 (検定3級献立) 調理実習内容の基礎知識について学ぶ。(だしの取り方、食材の切り方、炒め物の基本等) 食品の概量が理解できるように、目測試験を行う。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
3 学期	第5回定期試験	行事食 お月見 クリスマス料理 おせち料理 桃の節句 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 行事食の調理実習を行う。 使用する食材の扱い方、基本的な調理技術等を学ぶとともに、行事と調理の関連性を理解する。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
検定資格(時期)	全国高等学校家庭科技術食物調理検定3級(前期7月・700円)				
諸費用(予定)	前期で不合格だった場合、希望者は後期試験(後期1月・300円)受験可能				
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 食文化では、全国高等学校食物調理技術検定3級合格レベルの知識・技術を学んでいきます。 調理実習が多いので、エプロン・三角巾の準備、爪を短く切る・髪をまとめる等、身支度を調べて取り組んで下さい。 レポート作成を行うため、自ら学ぼうという強い意志のもと積極的に取り組んで下さい。 授業態度、プリントの記入状況および、提出状況、実習、定期考査の成績等から総合的に評価します。 				

教科・科目	商業・簿記	単位数	2	必修	必修	選択
学年・系列・コース	3学年 普通科					
使用教科書	高校簿記 (実教出版)	副教材	新版日商簿記3級問題集 (実教)			
目標とする生徒の将来像	① 簿記の知識・技術を身につけるとともに、簿記の学習をとおして、さまざまなビジネス活動を金額でとらえ、企業がその活動を適切に、効率よく行うことの重要性や、ものごとを合理的に処理する能力や態度を身につける。 ② 簿記一巡 (簿記で行うことの全体の流れ) についてのイメージをつかむこと。					
評価の観点	① 簿記の意味と特徴を理解し、それぞれの記帳ができる。 ② 授業を休まない。 ③ 難しい用語や、文章が多いが、「あきらめない」「なげださない」「継続する」ことができる。 ④ ビジネス社会の慣習に触れ、思考力を養うとともに、地道に努力する態度を養う。					
学期	単元・教材	主たる目標・つきたい力			評価の観点	
1 学期	企業の簿記 試算表	・何のために簿記があるのか、その目的を理解する。 資産・負債・純資産・収益・費用の5つを理解する。 「仕訳」処理をする方法を理解する			ノート・発言・実習 テスト 授業態度の観察等	
2 学期	決算 仕訳学習 仕訳伝票と3伝票制 5伝票制	・初歩の段階では、まず簿記の要素・仕訳と転記の学習を繰り返し行い、初歩的な仕訳についての理解 ・決算処理を行い簿記一巡の手続きについての全体像を確認する ・資産・負債・純資産・収益・費用の勘定科目や仕訳についての学習と演習を行う。 ・実務で使用される伝票の起票や集計について理解する				
3 学期	特殊な商品売買の記帳	商品売買の特殊な取引等を理解する				
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	全商協会主催『簿記実務検定試験3級』受験 1月第4日曜日 希望者・受験料1,300円 特別の学習が必要					
履修にあたって	○ 呑くこと (記帳) が基本です。地道に努力していくこと。 ○ 日々積み重ねの内容です。その日その日のうちに理解して、明日へ望むことが大切です。 ○ 単位数が少なく、簿記検定試験受験に必要な内容すべてを授業では学習できません。検定を受検したい場合は、担当に申し出てください。特別の対処をします。					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	理科 生物探究	単位	2	履修区分	必修修 ・ 必修 選択
対象学年・類型・コース	3年 普通科文系				
使用教科書	『改訂 生物基礎』東京書籍 (生基311)				
副教材					
目標とする 生徒の将来像	遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】生物や生物現象について関心をもち、意欲的に考えるとともに、科学的な見方や考え方を身につける。 ②【思考・判断・表現】生物や生物現象を科学的に考え、的確に説明する。 ③【観察・実験の技能】生物や生物現象について観察・実験の基本操作を習得する。 ④【知識・理解】生物や生物現象について、基本的な知識を身につける。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考査含	自己 評価
1 学期	第1回定期試験	・植生の多様性と遷移 ・バイオームとその分布	・植生は、年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。 ・植生の遷移について理解する。 ・バイオームと気候の関係について学ぶ。	① ④ノート・発言 ② テスト ① 授業態度の観察等 ① 学習記録表 ③ 観察レポート	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験	・植生の多様性と遷移	・日本のバイオーム(亜熱帯多雨林、照葉樹林、夏緑樹林、針葉樹林)について学ぶ。	① ④ノート・発言 ④ テスト ④授業態度の観察等 ①学習記録表	A B C A B C A B C A B C
2 学期	第3回定期試験	・刺激の受容とその反応 ・遺伝子の発現について	・基本的な構造やしくみの他、分子レベルの知識も学ぶ。 ・最新のバイオテクノロジーの手法の他、発生の過程との関連づけを行うためウニとカエルの発生も学ぶ。	① ④ノート・発言 ⑥ テスト ① 授業態度の観察 ①学習記録表	A B C A B C A B C
	第4回定期試験	・免疫の応用	・身近な免疫反応とその利用について学ぶ。	① 学習記録表 ④テスト ③実験レポート	A B C A B C A B C A B C
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	授業で指示された問題は必ず解けるようにする。 いつも「なぜ？」という疑問は持ち続け、自分で調べる。 問題集の問題は、完全に理解できるまで繰り返し解く。 定期試験、模擬試験の問題は必ず取って置き、間違えたところは必ず出来るようにする。				

教科・科目	芸術 構成	単位数	2
学年・系列・コース	3 学年 普通科・総合学科		
使用教科書	高校生の美術 I 日本文教出版	副教材	
目標とする生徒の将来像	○幅広い創造活動を通して、楽しく創作に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 ○観察力及び表現力を多様な視点から分析し、理解し、感性や想像力を磨き表現する力を養う。		
評価の観点	○感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ○創造的表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。		

学期	期間	単元・教材	主たる目標・評価のポイント	評価方法
1 学期	4	形体・色彩 生活を彩る模様 (80 - 81)	<ul style="list-style-type: none"> ・水張りの技術を習得。 ・アイデアスケッチを行い、主題設定及び構図を決める。 ・作品意図を言葉で伝えることができるか。 ・テーマに沿ったシンボルマークを提案する。アイデアの面白さ、カタチの面白さを工夫する。 ・作品説明にもイラストを入れるなどわかりやすく表現する。 ・作品意図を言葉で伝えることができるか。 	下絵提出
	5	植物を描く (10-11) ○着物のデザインを考える		作品提出 ワークシート提出 発表
	6	鑑賞		
	7 月	形体・色彩 サインのデザイン (74 - 75) ○シンボルマークを考える。		作品提出 ワークシート提出 発表
2 学期	9	平面構成 文字の工夫とポスター (72 - 73)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のテーマに合った言葉も考える ・絵や言葉・構図で、表現の工夫を追求する。 ・作品意図を言葉で伝えることができるか。 ・アイデアスケッチを行い構成を練る。 ・材料の効果的な使い方を考え、構造や機能を工夫して美しさや面白さを追求する。 	作品提出 ワークシート提出 発表
	10	○ポスターのデザイン		
	11	鑑賞		
	12 月	立体構成 パッケージのデザイン (82-83) ○段ボールで作る服飾品	下絵提出	
3 学期	1	ODM の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・「段ボールで作る服飾品」を撮影し、コンピュータソフトで加工しハガキにする。 ・作品意図を言葉で伝えることができるか。 	作品提出 ワークシート提出
	2			
履修にあたって		<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具、教科書、指示されたものは必ず持ってくる。 ・提出期限は必ず守る。守らないと評価できないため単位がもらえない。 ・授業態度はとてよく見られているので、大きな声で指導されないからといって油断しない。 ・片付けは、自分の道具だけではなく、作業した場所は必ず掃除する。 		
諸費用：500 円 用紙・水張りテープ・アクリル絵の具等材料費				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	情報の科学	単位	2	履修区分	選択
対象学年・類型・コース	普通科 3学年				
使用教科書	情報の科学 (東京書籍 2. 東書・情科306)				
目標とする生徒の将来像	1. 情報化と情報産業の発展が、社会にどのような影響を与えているかを理解する 2. 情報技術の仕組みを知り、一段上の機器操作を習得する。 3. 情報活用能力を身に付け、社会の発展に寄与する能力と態度を身に付ける。				
評価の観点	【関心・意欲・態度】情報の各分野に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。 【思考・判断・技能】情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報社会に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 【技能】情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 【知識・理解】情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・教科書 ・副教材	タイピングの基礎を改めて学ぶ。また、ネットワークの仕組みやハードウェア・ソフトウェアについて詳しく学ぶ。希望者は7月の検定試験受験可能。	【技】【関】	
	第2回定期試験	・教科書 ・副教材	情報モラルや情報関連の様々な問題・法律などについて詳しく学ぶ。	【知】【関】【技】【思】	
2 学期	第3回定期試験	・教科書	「情報を伝える者」としての工夫や心がけなどを、作品作りを通して学ぶ。	【関】【思】【技】	
	第4回定期試験	・教科書 ・情報処理検定模擬試験問題集	表計算ソフトを使用した実習を行う。希望者は11月の検定試験受験可能。また、折に触れて情報モラルについて考える。	【知】【関】【技】【思】	
3 学期	第5回定期試験	・教科書	・情報を伝えるための工夫や技術などについて総合的に考え、実習する。	【知】【関】【技】【思】	
	検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	希望者は、総合学科(情報観光系列)で実施している全国商業高等学校協会主催・ビジネス文書実務検定試験・情報処理試験を受験することができる。費用は級によって異なるが1000円から2000円。			
	履修にあたって	実習が多く、また、「社会と情報」よりさらに専門的な内容となります。意欲的な参加を求めます。ハードウェア関連だけではなく、知的財産権やインターネットトラブルなどについても、引き続き深く考えていきます。			

教科・科目 農業 「農業と環境」 平成30年度 年間学習指導計画書

履修学年・学科等 3 学年 普通科(文系) 科(系列) 単位数 2 単位 履修形態 選択 教科書名 7 実教出版 301「農業と環境」

副教材等 自作プリントなど
 指導目標 農業生物(作物)の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

年間学習指導計画 ※以下の計画は季節や学習を進める上で順番を入れ替えることがある。

月	週	指導項目	授業形態 (講義・実験・実習・演習)	指導内容	到達目標	評価の観点		
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・理解
	2	オリエンテーション(「農業と環境」を学ぶ)	講義	科目の目標と実習の役割について	授業に対する目標と心構えを身につける	○		
4	2	単元1 私たちの暮らしと農業・農村 ①人間と動植物のかかわり	講義	人間と動植物とのかかわり	人間と動植物とのかかわり、特に植物との関係が分かる			○
	3	単元2 キュウリの栽培 ①生育特性と栽培計画立案・播種	講義・演習	キュウリの栽培計画・播種	キュウリの栽培計画の全体像が分かる 播種方法が分かる	○	○	
	4	②キュウリの生育と栽培計画の実際/播種と発芽	講義・実習	キュウリの生育特性/播種と発芽	キュウリの特性と栽培計画が分かる 播種方法と発芽条件が分かる			○ ○
	5	③種子の形態と構造の観察/定植準備	講義・実習	種子の構造観察/取たての方法と施肥・マルチ張り	種子の構造と出芽を理解/取つくりと施肥方法が分かる			○ ○
5	2	④定植	実習	苗の定植適期と定植方法	育苗管理と定植時期が分かる 定植方法を理解し実際に出来る			○
	3	⑤キュウリ・その他夏野菜の仕立て方/マルチ敷設、支柱立て、ネット張り	実習	キュウリその他果菜類の仕立て方/マルチ敷設、支柱立て、ネット張り	キュウリと各種果菜類の支柱立方が分かる マルチ敷設、支柱立て、ネット張りの方法を理解し、実際に班員と協力して作業出来る。			○
	6	⑥生育診断と誘引、腋芽処理、整枝	実習	生育診断 誘引、腋芽処理(2節残し摘心)、整枝	生育状況の診断ができる 実際に主枝の誘引及び腋芽の処理、整枝が出来る			○
6	2	⑦キュウリの花と着花習性	講義・実験	雄花と雌花の観察、着花習性(単生花)	雌雄花の構造と着花習性が分かる		○	○
	3	⑧果実の肥大のしくみ/収穫	講義・実習	単為結果の特徴/収穫作業	単為結果の特徴が分かる 収穫時期が分かり実際に収穫出来る			○ ○
	4	⑨追肥	講義・実習	追肥	追肥の目的と時期を知り、施肥が出来る			○
	1	⑩病害虫の防除	講義	主要な病害虫の観察と防除	病害虫の種類及び防除方法が分かる。			○
7	2	⑪圃場の片付け	講義・実習	圃場の片付け	圃場片付けの目的と方法が分かる	○		
	3	単元2 キュウリ栽培のまとめ	講義・演習	キュウリの栽培のまとめ	キュウリの栽培方法(播種～収穫)が分かる(小テストによる確認等)	○		○
	1	単元3 アブラナ科野菜の栽培と加工 ①ハクサイの特性/栽培計画立案/ハクサイの播種	講義・演習	①ハクサイの特性/栽培計画立案/ハクサイの播種	ハクサイの特性が分かり、栽培計画が立案できる。実際に播種が出来る	○		○
9	1	②取たてと元肥の施用	講義・実習	取たてと元肥施肥	取たてと元肥施肥の方法が分かり、実際に出来る			○
	2	③ハクサイの品種特性と定植	実習	ハクサイの品種特性と定植	ハクサイの品種特性が分かる 定植方法が分かり実際に出来る			○
	3	④ダイコン特性/播種	講義・実習	ダイコンの特性 播種時期と方法	ダイコンの特性が分かる 播種時期が分かり実際に播種できる			○ ○
	4	⑤初生皮層のはく脱、根部の肥大	講義・実習	初生皮層のはく脱、根部の肥大	初生皮層のはく脱、根部の肥大過程が分かる			○
10	1	⑥間引き、土寄せ	講義・実習	間引きのしかた、土寄せ	間引き及び土寄せの方法が分かる 実際に関引き・土寄せが出来る	○		○
	2	⑦ハクサイ外葉の発達と役割	講義	外葉の発達と役割	外葉の発達と役割が分かる		○	○
	3	⑧肥料の種類と追肥	講義・実習	肥料の種類と追肥	肥料の種類と追肥法が分かり実際に圃場に施肥できる			○ ○
	4	⑨ハクサイ外葉発育期の栽培管理	講義・実習	外葉発育期の栽培管理	外葉発育期の栽培管理が分かる			○ ○
11	1	⑩結球ハクサイ、ダイコンの病害虫と防除法	講義・実習	結球ハクサイ、ダイコンの病害虫の観察と防除法	結球ハクサイ、ダイコンの病害虫と防除方法が分かる			○ ○
	2	⑪ハクサイ結球葉の分化と結球・とう立ち	講義・実習	結球葉の分化と結球の仕方と花芽分化・とう立ち	結球葉の分化と結球の仕方が分かる			○ ○
	3	⑫収穫の適期と方法	講義・実習	収穫の適期と方法	収穫の適期と方法を理解する			○ ○
	4	⑬結球の仕組み	実験	結球の仕組み(解剖・各種調査)	結球を解剖しその仕組みや化学的組成を知り、調査結果を適正に解釈できる			○ ○
12	1	⑭ハクサイの加工と保存方法	講義・実習	ハクサイの加工と保存方法	収穫物の加工と保存方法を理解し実際に加工が出来る	○		○
	2	単元3 アブラナ科野菜栽培の栽培と加工まとめ	実習	アブラナ科野菜栽培のまとめ	アブラナ科野菜の栽培と加工全般を理解する(小テストによる確認等)	○	○	
	3	単元1 私たちの暮らしと農業・農村 ②農業と自然・社会とのかかわり・農業の多面的機能	講義	農業と自然・社会とのかかわり・農業の多面的機能	農業と自然・社会とのかかわり・農業の多面的機能について総合的に理解し説明できる	○		○
1	1	③日本の農業・農村と地域の活性化	講義	日本の農業・農村と食料供給	歴史的な経緯も踏まえて農業の役割が説明できる	○		○
	2	プロジェクトのまとめ	講義・演習	プロジェクトのまとめ(キュウリ・ハクサイ)	プロジェクトのまとめが班員とすすんで出来る	○	○	
	1	単元4 作物の特性と栽培技術、栽培環境 ①作物栽培の基礎理論	講義	作物の特性と栽培の管理の基礎を理解	作物の特性と栽培の管理の基礎が分かる			○ ○
2	1	②作物の栽培と取り巻く環境と管理	講義	栽培環境と環境調節	栽培を取り巻く環境と環境調節技術について分かる(単元末小テスト)			○ ○
	2	単元5 環境調査と環境保全 ①基礎となる環境調査	講義・実験	土壌のpH、EC、三相分布の調査	土壌のpH、EC、三相分布の調査を行い、土壌状況を理解する。	○	○	○
	3	②環境保全	講義	環境保全の意味と問題点、方法	環境保全の意味と問題点、方法が分かる(単元末小テスト)	○		○
3	1	単元6 学習のまとめと農業クラブ活動 ①農業学習と学校農業クラブ活動について	講義	学校農業クラブ活動	学校農業クラブ活動の目標、意義、活動に実際について分かる 農業学習で学校農業クラブ活動の手法を活用できる(プロジェクト)。	○		○
	2	②科目「農業と環境」を学んで	講義	「農業と環境」まとめ	「農業と環境」全般について振り返り、個々の活動を整理できる	○	○	

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		時事英語	単位	2	履修区分	選択		
対象学年・類型・コース		3年 普通科文系						
使用教科書		MY WAY						
副教材		教師・ALT作成プリント						
目標とする 生徒の将来像		ア. ネイティブによる発話を聞き、ディクテーションできる。 イ. ALTによる異文化の題材を理解することが出来る。 ウ. 出題された問題に的確に答えることが出来る。						
評価の観点		定期考査80%・観点別評価20%・提出物・授業に対する積極性・小テスト・標準考査						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			評価法	自己 評価	
1 学期	第1 回	映画内でよく使われる発話について	・ネイティブによる発話を性格に聞き取る。 ・どのような場面でどのような単語が使われるか考える。			テスト 提出物 意欲	A B C A B C A B C A B C	
	定期 試験	世界の学校について	・異文化の学校について知り、まとめる。 ・興味のある国の学校について深く調べる。					
	第2 回	家族で使われる発話について	・ネイティブによる発話を性格に聞き取る。 ・どのような場面でどのような単語が使われるか考える。				テスト 提出物 意欲	A B C A B C A B C A B C
	定期 試験	世界の食事について	・異文化の食事について知り、まとめる。 ・興味のある国の学校について深く調べる。					
2 学期	第3 回	恋愛に関する発話について	・ネイティブによる発話を性格に聞き取る。 ・どのような場面でどのような単語が使われるか考える。			テスト 提出物 意欲	A B C A B C A B C A B C	
	定期 試験	世界の気候について	・異文化の気候について知り、まとめる。 ・興味のある国の学校について深く調べる。					
	第4 回	言い争いで使われる発話について	・ネイティブによる発話を性格に聞き取る。 ・どのような場面でどのような単語が使われるか考える。				テスト 提出物 意欲	A B C A B C A B C A B C
	定期 試験	世界の観光について	・異文化の観光について知り、まとめる。 ・興味のある国の学校について深く調べる。					
検定	英語検定 (希望者：6月・10月・1月)							
履修にあ たって	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、社会生活に活用できるようにする。 ・配付されたプリントをファイルにしっかり管理する。 ・辞書等授業で使うものは必ず持ってくる。 ・指示された課題や宿題をしっかりと提出日までに行う。 ・小テストには計画的に学習し、取り組む。							

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	理科 化学探究	単位	2	履修区分	必修・必修 ・必修 ・選択
対象学年・類型・コース	3年 普通科・文系				
使用教科書	『新編 化学』東京書籍 (化学基礎302)				
副教材	なし				
目標とする 生徒の将来像	教科書レベルの問題をしっかりと理解し、自分の力で解けるようにしたうえで、複合問題などの応用問題の解決能力を身につける。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】化学や化学現象について関心をもち、意欲的に考えるとともに、科学的な見方や考え方を身につけ、グループ討議に積極的に参加する。 ②【思考・判断・表現】化学や化学現象を科学的に考察し、的確に表現し、発表出来る。 ③【観察・実験の技能】化学や化学現象について観察・実験の基本操作を習得する。 ④【知識・理解】化学や化学現象について、基本的な知識を身につけ、発展的な応用ができる。(小テストや定期考査)				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考査含	自己 評価
1 学期	第1回定期試験	・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成	・酸や塩基の複数の定義や性質を理解でき、説明できる。 ・水素イオン濃度とpHの関係を理解し、計算ができる。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察	A B C A B C A B C
	第2回定期試験	・塩の加水分解 ・混合水溶液の2段階中和 ・酸化と還元	・中和反応の量的関係について理解し、実験を通じて計算ができる。 ・実験の器具を適切に使える。 ・酸化還元反応を理解し、反応式を書き計算できる。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート (中和滴定の実験)	A B C A B C A B C A B C
2 学期	第3回定期試験	・金属の酸化還元反応 ・電池の仕組み ・電気分解	・電池の分類や電池の構造を理解し適切に電池式が書ける。 ・電気分解の原理を理解し、計算できる。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C
	第4回定期試験	・総合問題演習 ・アルカル金属の性質を調べる実験	・今までの知識を生かし問題を解き、説明できる。 ・金属ナトリウムの性質の理解	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C
3 学期	第5回定期試験	・総合問題演習	・今までの知識を生かし問題を解き、説明できる。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C
	検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし			
	履修にあたって	授業で指示された問題は必ず解けるようにする。 いつも「なぜ？」という疑問は持ち続け、自分で調べる。 問題集の問題は、完全に理解できるまで繰り返し解く。 定期試験、模擬試験の問題は必ず取って置き、間違えたところは必ず出来るようにする。			

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	家庭・子どもの発達と保育	単位	2	履修区分	必履修 ・ 選択
対象学年・類型・コース	3年・普通科				
使用教科書	子どもの発達と保育 (実教出版)				
目標とする生徒の将来像	乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を身につけ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を養う。音楽・リズム、造形(折り紙)、言語(童話の読み聞かせ)、看護を手段とする表現技術の基礎を学び、保育検定4級レベルを目指します。				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】乳幼児の発達の特徴、生活と保育などについて関心を持ち、子どもの健康な成長を図ることを目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけているか。</p> <p>【思考・判断・表現】子どもの健全育成、親子関係、少子化などについて見直し、現代の課題を見付け、その解決を目指して思考を深め表現できているか。</p> <p>【技能】乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する技術を総合的に身につけているか。</p> <p>【知識・理解】乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識を総合的に身につけているか。</p>				
学期	期間	単元・教材名	主たる目標		評価の観点
1学期	第2回定期試験	<p>1 人間の発達の中の乳幼児期</p> <p>2 発達期の変遷</p> <p>※表現活動(保育検定造形)</p> <p>1 乳幼児の発育の特徴</p> <p>※表現活動(保育検定言語)</p> <p>※表現活動(検定音楽・リズム)</p> <p>※表現活動(保育検定看護)</p> <p>○保育実習の事前事後学習</p> <p>※保育実習①(見学)</p>	<p>・人間の発達の中の乳幼児期の意義を知る。</p> <p>・「愛着と安全の基地」「乳幼児の能動性」について理解する。</p> <p>・折り図を読取り、正しく折り紙を折ることができる。</p> <p>・鳥魚動物植物その他を2種類以上折ることができる。</p> <p>・発育・発達・成長の意味を知る。</p> <p>・乳幼児の身体及び生理的特徴を理解する。</p> <p>・子どもの発達段階にふさわしい言語表現ができる。</p> <p>・拍子を取りながら簡単な童謡を歌うことができる。</p> <p>・乳幼児の身体及び生理的特徴を理解する。</p> <p>・保育実習の意義や目的を理解し、主体的に実習に取り組む態度を身につける。</p>		<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p>
2学期	第4回定期試験	<p>1 子どもの養護</p> <p>2 子どもの食生活と衣生活</p> <p>3 子どもの遊び</p> <p>4 子どもの生活習慣としつけ</p> <p>○保育実習の事前学習・準備</p> <p>※保育実習②(児童文化財を使った実習)</p> <p>○保育実習の事後学習</p> <p>5 子どもの健康管理</p> <p>6 子どもの事故と安全</p> <p>7 子どもの生活と環境</p> <p>○保育園実習お礼作成</p>	<p>・子どもの発達段階に応じた適切な養護の方法について知る。</p> <p>・子どもの食生活と衣生活の特徴を理解する。</p> <p>・簡単な乳幼児食、おやつの調理ができる。</p> <p>・乳幼児の発達段階に応じた日常生活の世話に関する基本的な知識を理解する。</p> <p>・保育所見学をふまえ、意義や目的を理解し、主体的に実習に取り組む態度を身につける。</p> <p>・実習報告会を通して、学習内容や成果などについて、情報を共有化できる。</p> <p>・総合的に自己評価できる</p> <p>・生活習慣の習得の意義と重要性を理解する。</p> <p>・子どもの健康安全を守るための保育者の役割を理解する。</p> <p>・園児の発達段階にあわせたクリスマスカードを作成する。</p>		<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p> <p>【知・理】</p>
3学期	第5回定期試験	<p>1 保育の意義</p> <p>2 保育の目標と保育者の関わり</p> <p>3 家庭保育と集団保育</p> <p>※児童文化財の製作</p> <p>1 子どもの福祉とは</p>	<p>・人が育つことの意味とともに子どもの成長に果たす大人役割を理解し、具体的な援助方法を知る。</p> <p>・家庭保育と集団保育の役割を理解する。</p> <p>・今までの授業をふまえ、知育おもちゃの作成をする。</p> <p>・子どもの福祉の基本的な考え方について理解する。</p>		<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p> <p>【知・理】</p>
検定資格(時期)	全国高等学校家庭科技術保育検定4級(前期7月・1分野200円×4分野)				
・ 諸費用(予定)	音楽・リズム、造形(折り紙)、言語(童話の読み聞かせ)、看護の4分野 前期で不合格だった場合、希望者は後期試験(後期1月・1分野200円)受験可能				
履修にあたって	<p>・「発達と保育」では、実習を通して乳幼児の生活や保育などに関する基本的な知識と技術を身につけます。特に保育検定4級レベルの学習をします。</p> <p>・授業態度・プリント・学習ノート・の記入状況および提出状況、実習記録表、実習作品、実技試験、定期考査の成績等から総合的に評価します。</p>				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		英語理解	単位	2	履修区分	選択	
対象学年・類型・コース		3年 普通科文系					
使用教科書		トレジャーハント2					
副教材		なし					
目標とする生徒の将来像		ア. 英文を読み、書かれている内容を理解し、その内容を簡潔にまとめることができる。 イ. 英語での対話や説明文などを聞いて、その概要をつかむことができる。 ウ. 出題された問題に的確に答えることができる。					
評価の観点		定期考査80%・観点別評価20%・提出物・授業に対する積極性・小テスト・標準考査					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			評価法	自己評価
1 学期	第1 回定期 試験	UNIT 1	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの文章についての的確に読み取ることが出来る。 5文型を理解している。 			テスト 提出物 意欲	A B C
		UNIT 2	<ul style="list-style-type: none"> 医師と患者の会話を読みとることができる。 時制を使い分けることが出来る。 				A B C
		UNIT 3	<ul style="list-style-type: none"> 自動販売機の文章を的確に読み取ることが出来る。 代名詞や that 節を理解している。 				A B C
	第2 回定期 試験	UNIT 4	<ul style="list-style-type: none"> 航海中の病気についての的確に読み取ることが出来る。 現在完了形を理解している。 			テスト 提出物 意欲	A B C
		UNIT 5	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読みとり理解することができる。 過去形、過去完了形を使うことが出来る。 				A B C
		UNIT 6	<ul style="list-style-type: none"> テリーフォックスについての文章を的確に読み取ることが出来る。 助動詞の意味を把握し使うことが出来る。 				A B C
2 学期	第3 回定期 試験	UNIT 7	<ul style="list-style-type: none"> 昔の信号についての的確に読み取ることが出来る。 受動態を理解している。 			テスト 提出物 意欲	A B C
		UNIT 8	<ul style="list-style-type: none"> メンタルトレーニングについて読み理解することができる。 不定詞を使うことが出来る。 				A B C
		UNIT 9	<ul style="list-style-type: none"> 美容についての文章を的確に読み取ることが出来る。 不定詞を使うことが出来る。 				A B C
	第4 回定期 試験	UNIT 10	<ul style="list-style-type: none"> パンダの歴史についての的確に読み取ることが出来る。 動名詞の用法を把握し使うことが出来る。 			テスト 提出物 意欲	A B C
		UNIT 11	<ul style="list-style-type: none"> おとぎ話についての文章を理解することができる。 接続詞の意味を把握し、正しく使うことが出来る。 				A B C
		UNIT 12	<ul style="list-style-type: none"> 世界の水の事情についての文章を的確に読み取ることが出来る。 現在分詞と過去分詞を使い分けることが出来る。 				A B C
検定	英語検定 (希望者: 6月・10月・1月)						
履修にあ たって	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、社会生活に活用できるようにする。 ・配付されたプリントをファイルにしっかり管理する。・辞書等授業で使うものは必ず持ってくる。 ・指示された課題や宿題をしっかりと提出日までに行う。・小テストには計画的に学習し、取り組む。						